

平成30年度

株式会社やまびこ

http://www.kirinomori.co.jp/

〒799-0301 四国中央市新宮町馬立4491-1

TEL 0570-07-3111 FAX 0896-72-3112



地元特産の新宮茶で「村おこし」、世界に誇る新宮茶の価値を創出する会社！！

霧の森・霧の高原は、1999年に愛媛県宇摩郡新宮村(現・四国中央市新宮町)にオープンした複合観光施設です。けれど、霧の森・霧の高原は単なる観光施設ではありません。そしてもちろん、大福屋でもありません。実は霧の森・霧の高原は新宮村の村おこしのための拠点施設。あふれる大自然を売りにして、交流人口つまり遊びに来てくれる人を増やすための複合観光施設なのです。

新宮町には、1200年もの長い歴史と文化の集積があり、四国のお茶産業の発祥の地で、古くから農業に頼らない栽培方法で手間を惜しむことなく作られた「新宮茶」があります。当社の使命は一人でも多くの人に新宮茶、そして新宮村を知ってもらうこと。個々の自由なアイデアで観光客を楽しませ、地域住民を元気にすることができる会社です。

当社の 特徴 と 魅力



新宮とお客様を繋ぐ新宮茶

古くから農業に頼らない栽培方法で作られている香り高いお茶。



社員旅行での一幕

みなさん笑顔でベテランも若手も仲の良さが分かります。



イベントで大人気「ちゃぐち」

蛇口をひねると「新宮茶」！
人気急上昇のイベントアイテムです。



高野 由里子/2010年入社

★★社員紹介★★

本店勤務を経て、その後企画戦略室へ異動し、現在は県内外への出張販売や企画・広報などを担当している高野さん。やまびこに入社したきっかけは、大学時代にインターンとして出張販売に参加した際、お客様に新宮茶の良さを上手く伝えることができなくて悔しかったこと。自分の働きで新宮茶のおいしさを世に伝えていきたいと思い入社されたそうです。高野さんは、出張販売を通して、人口1200人にも満たない地域から、海外でも認められるお茶として新宮茶の知名度を高めたい、もちろん日本でも新宮茶に親しんでもらいたいと日々精進し、そして自分の想いがお客様に伝わったと実感できるときにやりがいを感じるそうです。出張先で外食が多いため、お休みの日は大好きな料理をつくるのが楽しみだとか。得意料理は「和食」でとても家庭的な素敵なお方でした。



企画販売 部長 平野 俊己

★★部長から一言★★

霧の森・霧の高原は、新宮村の「村おこし」のための拠点施設を目指してきました。今後はさらに若手スタッフの自由な発想をベテランスタッフの巧みな技で形にし、山菜や川魚など新宮村を代表する味覚を味わえる機会や、お茶まつりや手もみ茶道場など「新宮茶」を体感できるイベントを通して地域活性化をしていきたいと考えています。毎年インターンシップの学生を受入れるにあたって、スタッフは順番に指導係となり、学生の教育を通じて自己の成長を図っています。求める社員の姿は、明るく元気で、目先の微細な変化より10年先を見据えた考えができる人です。